

■ 意向調査実施概要

対象 内訳	・かほく市大崎地区の地権者：420人 -イ：24人 -リ：27人 -東：6人 -ロ：50人 -ル：3人 -南：57人 -ハ：25人 -壹字：17人 -ニ：19人 -弐字：4人 -ホ：14人 -参字：6人 -ト：34人 -四字：102人 -チ：21人 -中：11人
調査方法	・郵送配布 郵送回収もしくはWEB回答
調査期間	・2025年1月15日～31日

■ 意向調査 設問概要

問1	住民説明会の参加状況
問2	公共施設との一体的な液状化対策の必要性
問3	「地下水位低下工法」を基本として対策することの賛否
問4	「地下水位低下工法」を基本として対策することの反対理由
問5	合意形成への対応
問6	支援制度の活用意向
問7	支援制度で想定する工事内容
問8	今後のお住いの場所について
問9	今後のお住いの形態について
問10	その他意見

かほく市大崎地区 液状化対策に関する意向調査結果

■ 回収状況 合計 210件（大崎地区全域） 回収率 50.0%

■ 集計状況

	集計率 全体		その内、罹災証明書発行されている方			
			集計率 半壊以上		集計率 半壊未満	
大崎地区 全域	50.0%	配布：420件	57.3%	配布：117件	51.4%	配布：111件
		集計：210件		集計：67件		集計：57件

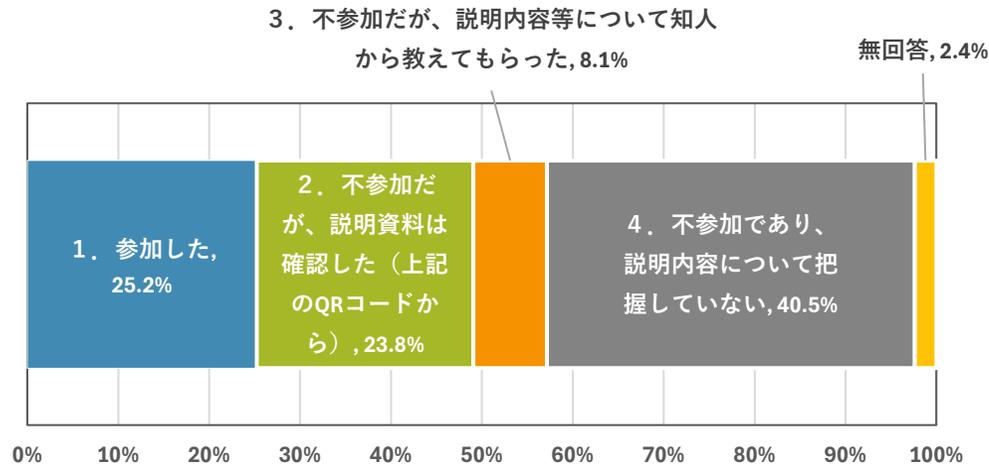
小字名	集計率 全体		その内、罹災証明書発行されている方			
			集計率 半壊以上		集計率 半壊未満	
イ	58.3%	配布：24件	60.0%	配布：5件	66.7%	配布：3件
		集計：14件		集計：3件		集計：2件
ロ	52.0%	配布：50件	77.8%	配布：18件	50.0%	配布：14件
		集計：26件		集計：14件		集計：7件
ハ	48.0%	配布：25件	83.3%	配布：6件	20.0%	配布：5件
		集計：12件		集計：5件		集計：1件
ニ	63.2%	配布：19件	28.6%	配布：7件	75.0%	配布：4件
		集計：12件		集計：2件		集計：3件
ホ	35.7%	配布：14件	40.0%	配布：5件	100.0%	配布：1件
		集計：5件		集計：2件		集計：1件
ト	47.1%	配布：34件	71.4%	配布：7件	55.6%	配布：9件
		集計：16件		集計：5件		集計：5件
チ	47.6%	配布：21件	40.0%	配布：10件	100.0%	配布：2件
		集計：10件		集計：4件		集計：2件

小字名	集計率 全体		その内、罹災証明書発行されている方			
			集計率 半壊以上		集計率 半壊未満	
リ	51.9%	配布：27件	44.4%	配布：9件	33.3%	配布：3件
		集計：14件		集計：4件		集計：1件
ル	33.3%	配布：3件	-	配布：0件	33.3%	配布：3件
		集計：1件		集計：0件		集計：1件
壱字	52.9%	配布：17件	100.0%	配布：2件	33.3%	配布：3件
		集計：9件		集計：2件		集計：1件
弐字	50.0%	配布：4件	-	配布：0件	0.0%	配布：1件
		集計：2件		集計：0件		集計：0件
参字	50.0%	配布：6件	-	配布：0件	0.0%	配布：2件
		集計：3件		集計：0件		集計：0件
四字	47.1%	配布：102件	45.2%	配布：31件	57.6%	配布：33件
		集計：48件		集計：14件		集計：19件
中	27.3%	配布：11件	50.0%	配布：2件	100.0%	配布：1件
		集計：3件		集計：1件		集計：1件
東	83.3%	配布：6件	100.0%	配布：1件	100.0%	配布：2件
		集計：5件		集計：1件		集計：2件
南	50.9%	配布：57件	71.4%	配布：14件	44.0%	配布：25件
		集計：29件		集計：10件		集計：11件

結果 | 単純集計一覧

問1 | 令和6年11月27日に実施した住民説明会への参加状況について教えてください。（該当する1つに○印を付けてください）

- 説明会への参加や説明会資料の閲覧等で、説明会の内容を把握している方は、全体の57.1%を占めている。

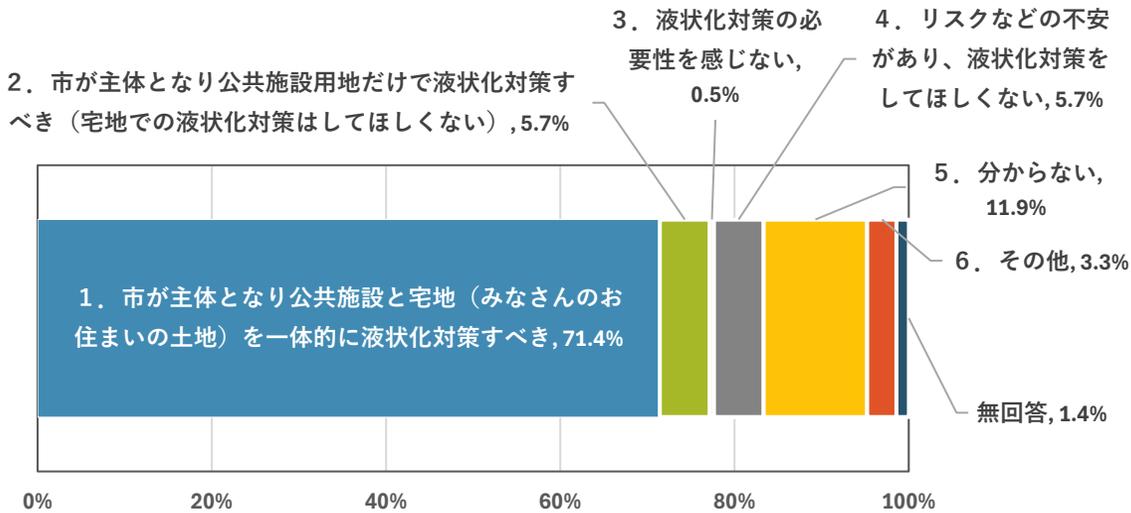


問1 令和6年11月27日に実施した住民説明会への参加状況について教えてください。（該当する1つに○印を付けてください）	回答数	割合
1. 参加した	53	25.2%
2. 不参加だが、説明資料は確認した（上記のQRコードから）	50	23.8%
3. 不参加だが、説明内容等について知人から教えてもらった	17	8.1%
4. 不参加であり、説明内容について把握していない	85	40.5%
無回答	5	2.4%
合計	n=210	

結果 | 単純集計一覧

問2 | 国土交通省による調査報告では、液状化対策について「地下水位低下工法」と「地盤改良工法」の2種類の工法の適用が示されており、かほく市では「地下水位低下工法」を基本に対策しながら、部分的に「地盤改良工法」も取り入れることを検討しています。このような道路等の公共施設とみなさんの宅地とを一体として液状化対策を行う工事の必要性について、現在の考えに近いものをお答えください。（該当する1つに○印を付けてください）

- 「市が主体となり公共施設と宅地（みなさんのお住まいの土地）を一体的に液状化対策すべき」と考えている人が最も多く、71.4%を占めている。

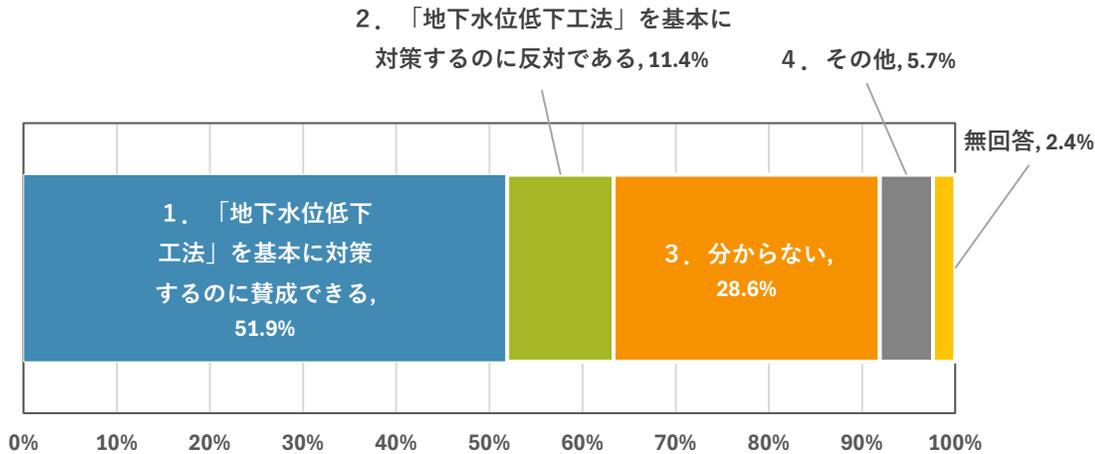


問2 国土交通省による調査報告では、液状化対策について「地下水位低下工法」と「地盤改良工法」の2種類の工法の適用が示されており、かほく市では「地下水位低下工法」を基本に対策しながら、部分的に「地盤改良工法」も取り入れることを検討しています。このような道路等の公共施設とみなさんの宅地とを一体として液状化対策を行う工事の必要性について、現在の考えに近いものをお答えください。（該当する1つに○印を付けてください）	回答数	割合
1. 市が主体となり公共施設と宅地（みなさんのお住まいの土地）を一体的に液状化対策すべき	150	71.4%
2. 市が主体となり公共施設用地だけで液状化対策すべき（宅地での液状化対策はしてほしくない）	12	5.7%
3. 液状化対策の必要性を感じない	1	0.5%
4. リスクなどの不安があり、液状化対策をしてほしくない	12	5.7%
5. 分からない	25	11.9%
6. その他	7	3.3%
無回答	3	1.4%
合計	n=210	

結果 | 単純集計一覧

問3 | かほく市では「地下水位低下工法」を基本に対策しながら、部分的に「地盤改良工法」を取り入れることを検討しています。かほく市が検討している対策について、現在の考えについてお答えください。（該当する1つに○印を付けてください）

- 「「地下水位低下工法」を基本に対策するのに賛成できる」と回答した人が、51.9%を占めている。
- 一方で、「「地下水位低下工法」を基本に対策するのに反対である」と回答した人が、11.4%存在する。

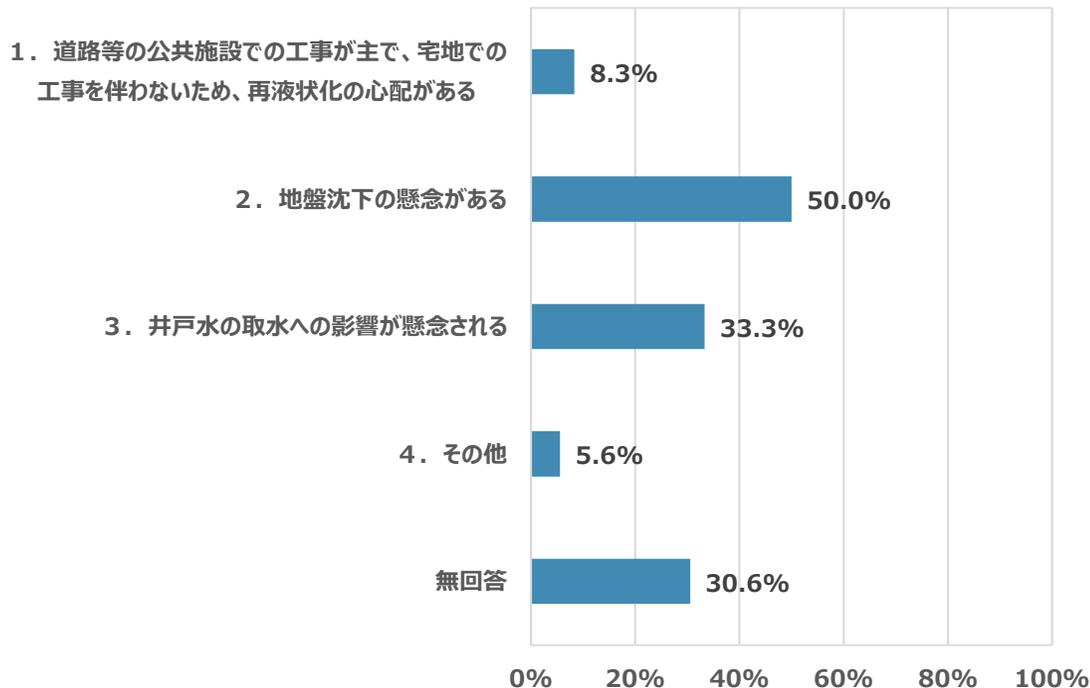


問3 かほく市では「地下水位低下工法」を基本に対策しながら、部分的に「地盤改良工法」を取り入れることを検討しています。かほく市が検討している対策について現在の考えについてお答えください。（該当する1つに○印を付けてください）	回答数	割合
1. 「地下水位低下工法」を基本に対策するのに賛成できる	109	51.9%
2. 「地下水位低下工法」を基本に対策するのに反対である	24	11.4%
3. 分からない	60	28.6%
4. その他	12	5.7%
無回答	5	2.4%
合計	n=210	

結果 | 単純集計一覧

問4 | 問3で「地下水位低下工法」を基本に対策するのに反対であると回答された方にお聞きします。「地下水位低下工法」を基本に対策するのが反対である理由をお答えください。（該当する全てに○印をつけてください）

- 反対理由としては、「地盤沈下の懸念がある」と回答した人が最も多く、50.0%を占めている。
- 次いで「井戸水の取水への影響が懸念される」と回答した人が、33.3%存在する。



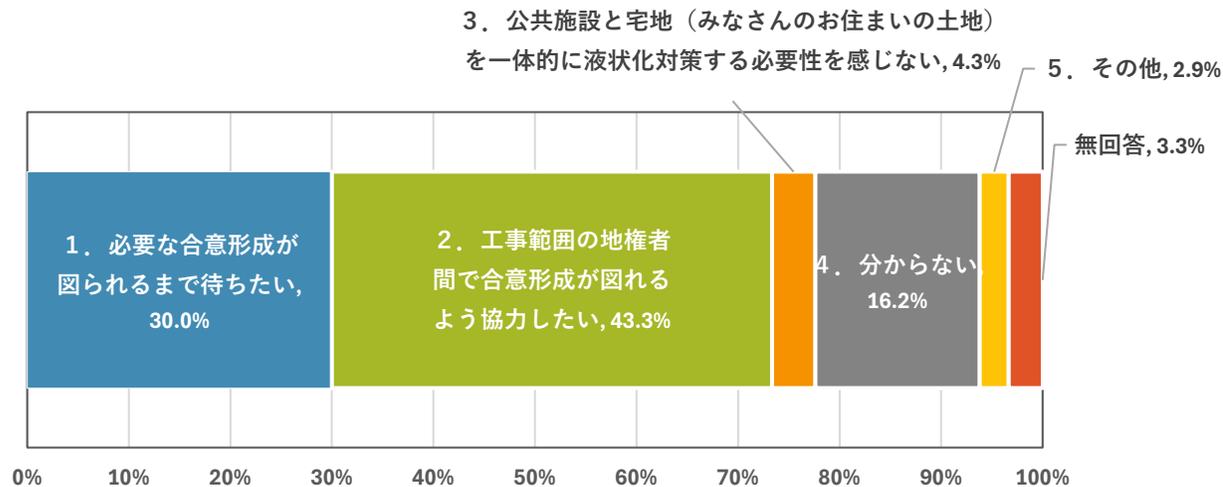
問4 問3で「地下水位低下工法」を基本に対策するのに反対であると回答された方にお聞きします。「地下水位低下工法」を基本に対策するのが反対である理由をお答えください。（該当する全てに○印をつけてください）	回答数	割合
1. 道路等の公共施設での工事が主で、宅地での工事を伴わないため、再液状化の心配がある	3	8.3%
2. 地盤沈下の懸念がある	18	50.0%
3. 井戸水の取水への影響が懸念される	12	33.3%
4. その他	2	5.6%
無回答	11	30.6%
合計	n=36	

※問3で「選択肢1,3と回答した人」および「無回答の人」は問4の対象外であるため除外している

結果 | 単純集計一覧

問5 | 液状化対策工法の決定や、その工事範囲を決めていく過程においては、住民のみなさまとの合意形成が前提となります。工事範囲は一定のまとまり（最低でも10戸3,000㎡以上の範囲）が必要であり、この範囲の地権者等との合意形成を図ることとなります。これにより工事着手等が他の範囲と比較し前後する可能性があります。仮にあなたのお住いの場所を含む範囲での住民の方々の意向が分かれた場合、どのような対応をすることが考えられますか。（今のお考えに最も近いもの1つに○印を付けてください）

- 「工事範囲の地権者間で合意形成が図られるよう協力したい」が最も多く、43.3%を占めている。
- 次いで、「必要な合意形成が図られるまで待ちたい」が30.0%を占めている。

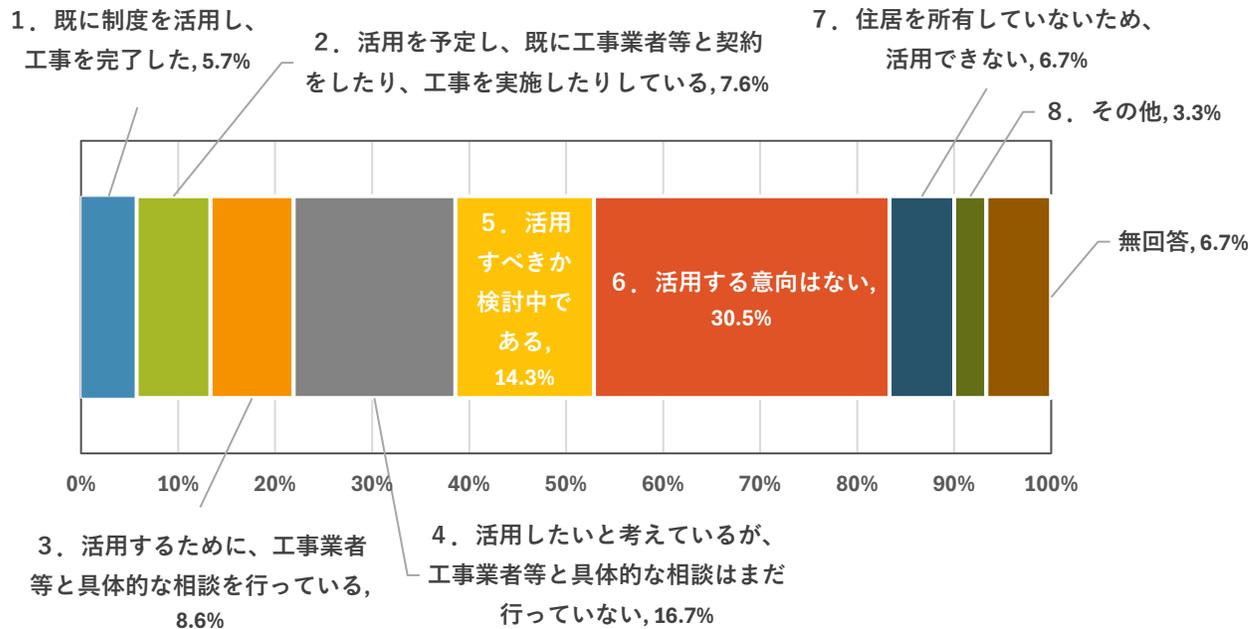


問5 液状化対策工法の決定や、その工事範囲を決めていく過程においては、住民のみなさまとの合意形成が前提となります。工事範囲は一定のまとまり（最低でも10戸3,000㎡以上の範囲）が必要であり、この範囲の地権者等との合意形成を図ることとなります。これにより工事着手等が他の範囲と比較し前後する可能性があります。仮にあなたのお住いの場所を含む範囲での住民の方々の意向が分かれた場合、どのような対応をすることが考えられますか。（今のお考えに最も近いもの1つに○印を付けてください）	回答数	割合
1. 必要な合意形成が図られるまで待ちたい	63	30.0%
2. 工事範囲の地権者間で合意形成が図られるよう協力したい	91	43.3%
3. 公共施設と宅地（みなさんのお住まいの土地）を一体的に液状化対策する必要性を感じない	9	4.3%
4. 分からない	34	16.2%
5. その他	6	2.9%
無回答	7	3.3%
合計	n=210	

結果 | 単純集計一覧

問6 | 市では、被災した宅地の早期復旧のため「被災宅地等復旧支援事業」を創設しています。この宅地の復旧等に係る支援制度の活用意向についてお答えください。なお、宅地の復旧等に係る支援は必要なく、住宅の修繕等に係る支援だけを活用する場合の方は、「6.活用する意向はない」を選択ください。（該当する1つに○印を付けてください）

- 「活用する意向はない」が最も多く、30.5%を占めている。
- 一方で、制度の活用を見据えている人は、合わせて32.9%を占めている。
- また、14.3%の人が「活用すべきか検討中である」と回答している。

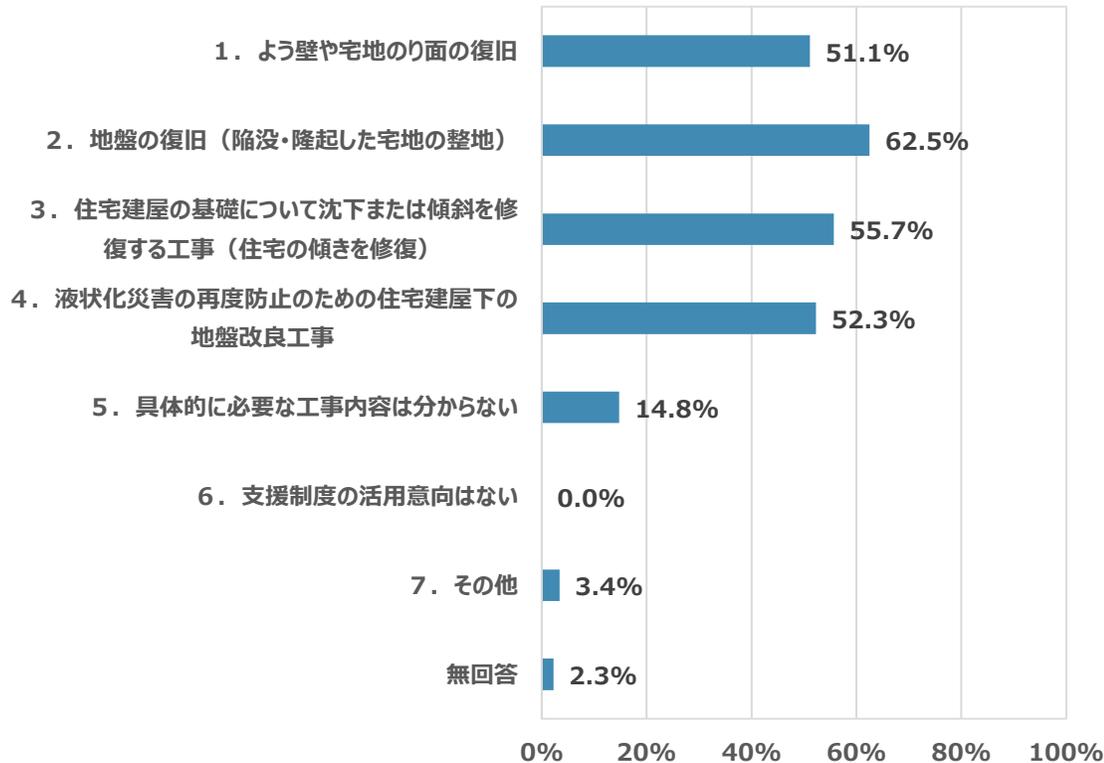


問6 市では、被災した宅地の早期復旧のため「被災宅地等復旧支援事業」を創設しています。この宅地の復旧等に係る支援制度の活用意向についてお答えください。なお、宅地の復旧等に係る支援は必要なく、住宅の修繕等に係る支援だけを活用する場合の方は、「6.活用する意向はない」を選択ください。（該当する1つに○印を付けてください）	回答数	割合
1. 既に制度を活用し、工事を完了した	12	5.7%
2. 活用を予定し、既に工事業者等と契約をしたり、工事を実施したりしている	16	7.6%
3. 活用するために、工事業者等と具体的な相談を行っている	18	8.6%
4. 活用したいと考えているが、工事業者等と具体的な相談はまだ行っていない	35	16.7%
5. 活用すべきか検討中である	30	14.3%
6. 活用する意向はない	64	30.5%
7. 住居を所有していないため、活用できない	14	6.7%
8. その他	7	3.3%
無回答	14	6.7%
合計	n=210	

結果 | 単純集計一覧

問7 | 宅地の復旧等に係る支援制度を活用する際に対象とする工事内容について、現在必要と思われるものをお答えください。（該当する全てに○印をつけてください）

- 制度を活用する際に対象とする工事内容としては、「地盤の復旧（陥没・隆起した宅地の整地）」が最も多く、62.5%を占めている。
- そのほか、「よう壁や宅地のり面の復旧」、「住宅建屋の基礎について沈下または傾斜を修復する工事（住宅の傾きを修復）」、「液状化災害の再度防止のための住宅建屋下の地盤改良工事」と回答した人は、いずれも5割以上存在する。



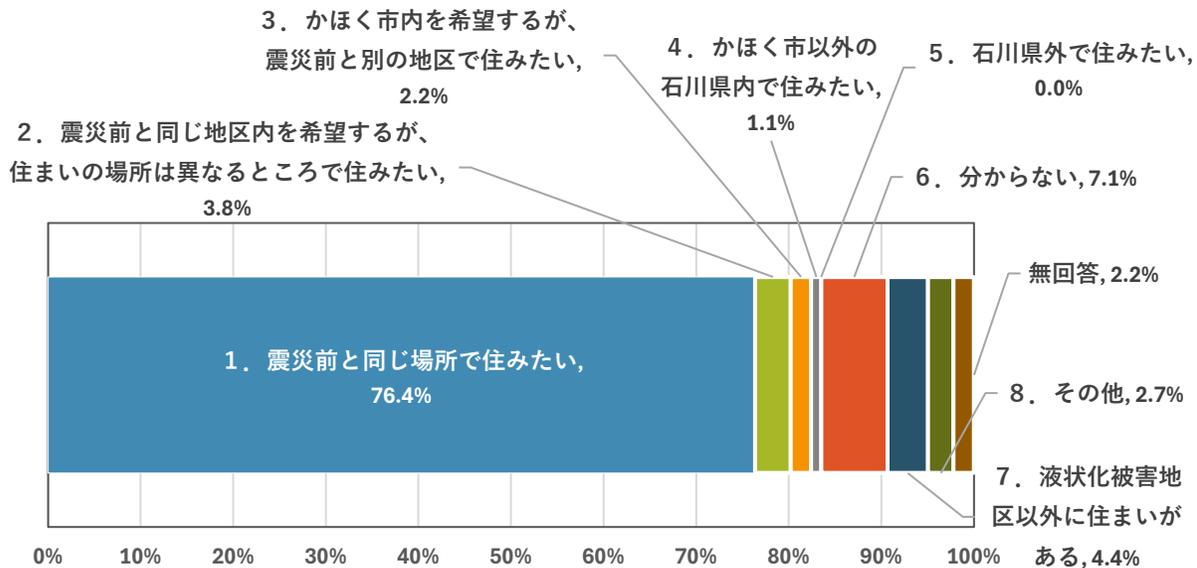
問7 宅地の復旧等に係る支援制度を活用する際に対象とする工事内容について現在必要と思われるものをお答えください。（該当する全てに○印をつけてください）	回答数	割合
1. よう壁や宅地のり面の復旧	45	51.1%
2. 地盤の復旧（陥没・隆起した宅地の整地）	55	62.5%
3. 住宅建屋の基礎について沈下または傾斜を修復する工事（住宅の傾きを修復）	49	55.7%
4. 液状化災害の再度防止のための住宅建屋下の地盤改良工事	46	52.3%
5. 具体的に必要な工事内容は分からない	13	14.8%
6. 支援制度の活用意向はない	0	0.0%
7. その他	3	3.4%
無回答	2	2.3%
合計	n=88	

※問6で「選択肢5,6,7と回答した人」および「無回答の人」は問7の対象外であるため除外している

結果 | 単純集計一覧

問8 | これからの住まい（場所）について、現在の考えをお答えください。（該当する1つに○印を付けてください）

- 全体の76.4%の人が「震災前と同じ場所で住みたい」と回答している。



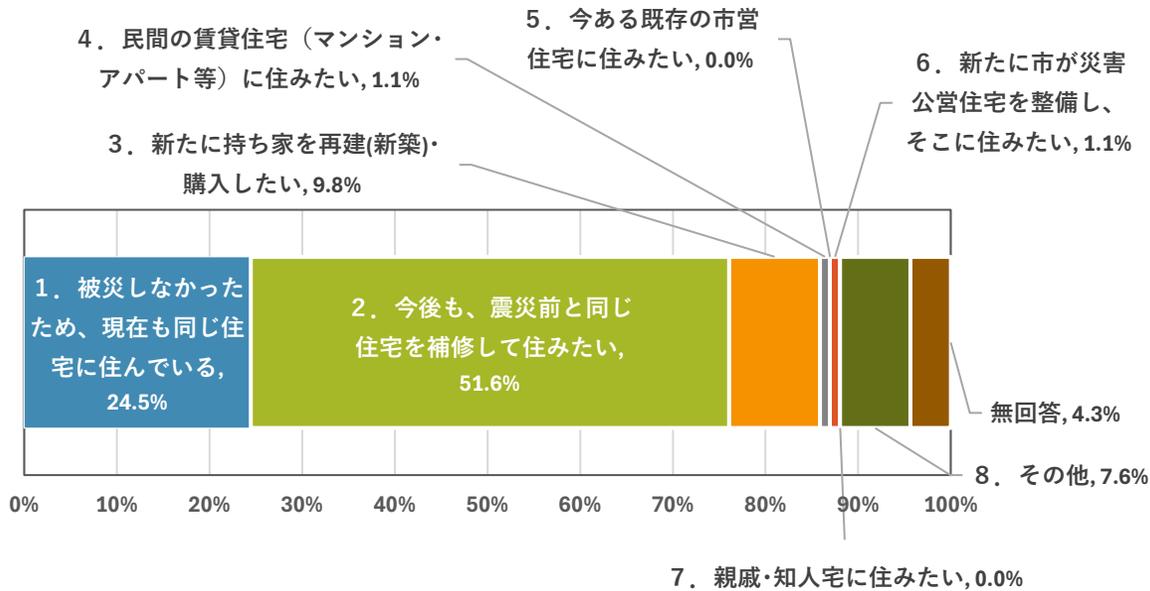
問8 これからの住まい（場所）について、現在の考えをお答えください。（該当する1つに○印を付けてください）	回答数	割合
1. 震災前と同じ場所で住みたい	139	76.4%
2. 震災前と同じ地区内を希望するが、住まいの場所は異なるところで住みたい	7	3.8%
3. かほく市内を希望するが、震災前と別の地区で住みたい	4	2.2%
4. かほく市以外の石川県内で住みたい	2	1.1%
5. 石川県外で住みたい	0	0.0%
6. 分からない	13	7.1%
7. 液状化被害地区以外に住まいがある	8	4.4%
8. その他	5	2.7%
無回答	4	2.2%
合計	n=182	

※問6で「選択肢7と回答した人」および「無回答の人」は問8の対象外であるため除外している

結果 | 単純集計一覧

問9 | ご自身のこれからの住まい（住宅）に関する現在の意向をお答えください。（該当する1つに○印を付けてください）

- 「今後も、震災前と同じ住宅を補修して住みたい」と回答した人が最も多く、51.6%を占めている。
- 次いで、「被災しなかったため、現在も同じ住宅に住んでいる」と回答した人が、24.5%程度存在する。
- また、全体の9.8%の人は「新たに持ち家を再建(新築)・購入したい」と回答している。



問9 ご自身のこれからの住まい（住宅）に関する現在の意向をお答えください。（該当する1つに○印を付けてください）	回答数	割合
1. 被災しなかったため、現在も同じ住宅に住んでいる	45	24.5%
2. 今後も、震災前と同じ住宅を補修して住みたい	95	51.6%
3. 新たに持ち家を再建(新築)・購入したい	18	9.8%
4. 民間の賃貸住宅（マンション・アパート等）に住みたい	2	1.1%
5. 今ある既存の市営住宅に住みたい	0	0.0%
6. 新たに市が災害公営住宅を整備し、そこに住みたい	2	1.1%
7. 親戚・知人宅に住みたい	0	0.0%
8. その他	14	7.6%
無回答	8	4.3%
合計	n=184	

※問6で「無回答の人」、問8で「選択肢7と回答した人」および「無回答の人」は問9の対象外であるため除外している